

2025年度活動予定プロジェクト一覧(6月時点)(*50音順)

プロジェクト名	概要	参加団体/個人
青と緑の学校 (IDGsプロジェクト)	「自分のために、誰かのために」というテーマで活動。IDGs旅というテーマでの実証実験を踏まえ、今年はIDGs(内面成長)と地方創生を掛け合わせた教育プログラムを実施。第1期は能登町を舞台に実施。	IDG NIPPON Labo フォレストリサーチ & コンサルティング 谷口聡 小西千晶 森雅司
親子で学ぶ事業承継の旅	水戸ならではの「歴史に学ぶ」コンテンツも用意。※徳川斉昭から慶喜への承継や大政奉還で無血開城した時間軸の大きさ触れ、事業継承など抱える問題の解決のヒントにしてみよう・普段とは違う環境で経営の専門家から助言をもらい「経営のゴール」を設定する時間を用意。	アーストラベル水戸
健康寿命を考える食の旅	—	(株)ホリ・コーポレーション
身体性と越境を通じた人材開発から探る新たな地域開発-生き様からの自己覚醒	人材開発も地域開発も、新たな自己発見から始まる。新たな3つの「間」(時間・空間・人間)に囲まれ、現地人との「遊び」を通じ、自他を新たに洞察する感性を磨く。越境と身体性、2つの非日常から己とまちの新しい生き方を探求する。	(株)Waisportsジャパン、常総市、牛久市、北広島市、紫波町など
旅の経験を活用したジェネリックスキルの成長を高める教育手法の開発	2024年度「Z世代によるタイプ重視Z世代に向けた旅のすすめ」の研究を踏襲し、大学生を対象とした「旅の経験を活用したジェネリックスキルの教育手法」と「旅における学習効果の可視化」の実証実験を実施。	多摩大学
旅×まちづくり ~「旅」を活かす自治体政策	日本全体で人口が減少する中、特に地方部の自治体政策において、いかに「旅」を活かすことができるか、今年度は主に協議会員同士の意見交換を踏まえ、「旅×まちづくり」の性質や可能性の整理・検討を行う。	園(個人研究員/南大隅町)
撮り旅	学生たちが感じる、対象となる地域の魅力を企画・撮影・編集して地域のPR映像としてアウトプットする、地方創生・人財育成を目指したプロジェクト。映像制作をプロが指導し、学生たちは技術的なスキルを習得。また、制作の工程から楽しみながら非認知能力や愛郷心を育てていく。完成した映像はPR映像として活用され、学生たちの地域貢献への第一歩を後押ししている。	AOI Pro.、ANAホールディングス
ビヨンドトゥモロー(海外研修)	ビヨンドトゥモローは、親との死別や離別、貧困、虐待など、様々な困難を経験し、社会的に困難な立場にある若者たちの社会参画を促進すべく、奨学金支給や国内外での人材育成プログラムを行い、広い視野と深い共感力を備えた次世代リーダーの成長を応援。	小林正忠(理事)、公益財団法人教育支援グローバル基金
別府市発の新しい学び方・休み方 「たびスタ」休暇(ラーケーション)	「たびスタ」休暇は、旅育の推進と観光需要のシフトによる地域経済の活性化	別府市、ANAホールディングス

	を目指す取り組みで、「旅」と「学習(study)」を組み合わせた別府市発の新しい学び方・休み方。年度内5日まで取得可能で、「欠席」とせず「出席停止等」の扱いとする。	
本と旅	旅の目的地やテーマから着想を得て選んだ「本」とともに旅をし、旅中で本を読み、参加者とともに語り合うことで、旅の満足度や幸福度向上、地域への関心や愛着度が高まることを仮説とし、実証を経て、「本と旅」のプログラムを開発する。	丸善雄松堂、ANAホールディングス
水をテーマにした企業研修プログラム	その昔、縄文人やアイヌの人々が千歳川流域に生活拠点を置き、今では北海道を代表する空港や飲料、精密機器メーカー等が立地する千歳市で、景観やアクティビティに留まらない“水”が潤す生活と産業の観光活用を考察する。	千歳観光連盟
Authentic Journey ～本質をめぐる旅	旅の序盤にWell-being×パーパスワークショップを実施し、参加者が自分自身と向き合い自己肯定感を高めるところからスタート。対話の時間を多く取り入れ、生きる意味や本物の豊かさについて学ぶ。旅の前後に幸福度診断(Well-being Circle)を実施することで、幸福度と旅の相関についても検証する。	Think and Dialogue、ANAホールディングス
Regenerative Tourism: 旅を通してZ世代がどのような変容を求めるか	旅慣れていないZ世代でも参加しなくなる「自己変容の旅」にはどのような特徴があるのか、学生の企画や視察を通して検証する。また、満足度が高い自己変容の旅のあり方を調査する。	戸板女子短期大学